

6 医療機器商社 年商 200 億 F 社

1 M社 => 発展会計

企業内専用回線のクライアントサーバー型からクラウド方式へ会計システム変更。

本社 3 名と支店 6 店舗の分散入力システムとして利用。保守料の負担軽減と支店間の本支店会計システムを低コストで構築。

1 導入前課題

- M社の古いネットワークシステムを購入したが、保守契約をせず古いバージョンのまま
で、会計事務所でデータ共有が出来ない。
- 会計事務所では、部門別の資料提供のために資料を預かり再度仕訳入力を毎月行っていた。

2 提案ポイント

- コストを掛けずに、本支店会計システムを構築可能
- バージョンの管理不要
- 会計事務所のサポートとデータ共有

3 導入後効果

- 初期費用ゼロで、本支店会計システム導入
- 会計事務所の入力業務省力化